

素案(案)の構成(前回提示した内容)

章立て	項目
国土交通省技術基本計画について	
第一章 技術政策の 基本方針	1. 国土交通行政における技術政策の基本的考え方
	2. 考慮すべき諸情勢
	2-1 東日本大震災等の大災害から学ぶこと
	2-2 国土交通行政を巡る諸情勢
	3. 前計画の実績・課題
	4. 今後の技術政策の基本方針
第二章 技術研究開 発の推進と その成果的な活 用	1. 基本的な考え方
	2. 重点的に取り組む技術研究開発
	2-1 主要課題の解決に資する技術研究開発
	① 東日本大震災を踏まえた対応
	② 風水害、雪害等の災害対応
	③ 地球温暖化・エネルギー問題
	④ 自然環境の保全・再生、水資源の確保
	⑤ 社会資本の適確な維持管理・更新
	⑥ 交通・輸送システムの安全性・信頼性等向上
	⑦ 新市場の開拓・国際競争力と国際プレゼンスの強化及び地域の活力の向上
2-2 共通基盤技術	
① 膨大な情報の有効活用	
② 地理空間情報を基礎とした各種情報の有効活用	
③ 海洋フロンティアの戦略的開発・利用のための海洋情報の集約体制の開発	
④ 新たな公共調達手法の導入を支える技術研究開発	
⑤ 既存施設を賢く使うための技術研究開発	
2-3 重点プロジェクトについて	
3. 技術研究開発の推進施策	
3-1 産学による技術研究開発の促進・支援	
3-2 技術基準の策定及び国際基準や国際標準の整備への取組	
3-3 技術研究開発の評価	
4. 新技術及び既存技術の效果的な活用	
第三章 技術の国際展 開	1. 基本的考え方 2. 国際展開の方策
第四章 人材の育成	1. 基本的な考え方 2. 人材に求められる能力・資質 3. 技術政策を担う人材の育成方策
第五章 社会の信頼の 確保	1. 基本的な考え方 2. 実施方策
第六章 計画の実施と改 善	1. 基本的な考え方 2. 技術基本計画の実施状況の評価



新たな構成 ※新たに追加した事項

章立て	項目	記載のポイント
国土交通省技術基本計画について		
第1章 技術政策の基 本方針	1. 国土交通行政における技術政策の基本的考え方	○技術政策の基本方針を示し、技術研究開発等や国際展開等の主要な事項を位置付け
	2. 考慮すべき諸情勢 (1) 東日本大震災等の大災害から学ぶこと (2) 国土交通行政を巡る諸情勢	○震災からの復旧・復興について記述を追加 ○産業競争力強化の取組
	3. 前計画の実績・課題	○東日本大震災を踏まえた重要な視点 ○国土交通行政を巡る諸課題
	4. 今後の技術政策の基本方針	○事業、施策との連携、技術の統合・融合 等
	5. 技術に対する基本姿勢	○日本再生戦略、社会資本整備重点計画等を踏まえた方向性として「安全・安心の確保」、「デフレ脱却と経済活性化」 ○技術に対する基本姿勢を明確に示す
第2章 技術研究開 発の推進と技術の 效果的・効率的 な活用	2-1 技術研究開発の推進	○行政上の重要な課題解決に向けた技術研究開発の推進 ○重点的に取り組む技術研究開発(対象分野)を示す
	1. 基本的な考え方	○技術政策の方向性として「安全・安心の確保」及び「デフレ脱却と経済活性化」を明示し、それと重点的に取り組む技術研究開発の関連の明確化
	2. 重点的に取り組む技術研究開発	○国土交通行政に係る各種調査及び情報・知識を収集し、活用することを共通基盤技術に記述
	(1) 安全・安心の確保に向けた技術研究開発	○「産」、「学」、「官」それぞれに期待される役割について新たに記述。
	① 東日本大震災を踏まえた対応	
	② 風水害、雪害等の災害対応	
	③ 社会資本の適確な維持管理・更新	
	④ 交通・輸送システムの安全性・信頼性等向上	
	(2) デフレ脱却と経済活性化に向けた技術研究開発	
	① 地球温暖化・エネルギー問題	
② 新市場の開拓・国際競争力と国際プレゼンスの強化及び地域の活力の向上		
③ 自然環境の保全・再生、水資源の確保		
(3) 共通基盤となる技術研究開発		
① 膨大な情報の有効活用		
② 地理空間情報を基礎とした各種情報の有効活用		
③ 海洋フロンティアの戦略的開発・利用のための海洋情報の集約体制の開発		
④ 新たな公共調達手法の導入を支える技術研究開発		
⑤ 既存施設を賢く使うための技術研究開発		
3. 技術研究開発の推進施策		
① 産学官の役割分担		
② 産学による技術研究開発の促進・支援		
③ 技術基準の策定及び国際基準や国際標準の整備への取組		
④ 技術研究開発の評価		
2-2 技術の效果的・効率的な活用	○新たな技術開発と共に既存技術の效果的な活用を推進 ○「他分野及び民間技術の活用」、「知の体系化の推進」について新たに記述。	
2-3 重点プロジェクトの推進	○国土情報プロと地球観測・共通基盤情報プロの統合 ○要素技術統合型・建設生産システム改善プロを新たに設定	
1. 基本的な考え方	○事業、施策と一体的な産学官の技術開発の総合的な取組	
2. 関連要素の統合、融合、組合せによる効果向上を目指す7つの重点プロジェクト	○目標の明確化と、実効性のある仕組み・体制の構築	
3. 重点プロジェクトの実施方針	○統合・融合の視点の整理	
第3章 技術の国際展 開	1. 基本的な考え方 2. 国際展開の方策	○「我が国の技術の強みを生かす」、「基準・標準化による推進」等の観点から新たに整理。
第4章 人材の育成	1. 基本的な考え方 2. 技術政策を支える産学官の人材に求められる能力資質 3. 国土交通省における人材の育成方策	○産学官に共通する能力・資質を新たに記述。 ○国土交通省職員の人材育成方策を示す
第5章 社会の信頼の 確保	1. 基本的な考え方 2. 実施方策	○「災害、事故等に対する迅速且つ的確な対応」、「事業・施策に対する理解の向上」等の観点から新たに整理。
第6章 計画の実施と改 善	1. 基本的な考え方 2. 技術基本計画の実施状況の評価	○フォローアップの「対象」、「実施方針」、「実施計画」を作成し、それに基づき実施していくことを新たに記述。

国土交通省技術基本計画の構成

(前文) 国土交通省技術基本計画について

○技術政策の基本方針の明示 ○技術研究開発の推進と技術の有効活用 ○国土交通技術の国際展開、技術政策を支える人材の育成、社会の信頼の確保 ○計画のフォローアップ

【第1章】技術政策の基本方針

1. 国土交通行政における技術政策の基本的な考え方

- 国土交通行政における技術政策
 - ・技術政策（基本的な考え方、行政上の位置付け、内容・定義）
- 国土交通行政において技術が果たす役割

国土交通行政における技術政策とは、国土交通行政上の事業・施策を支え、それらの効果または効率を向上させ、また、イノベーションの創出による国土または海洋を巡る新たな事業・施策の展開を実現する、諸々の技術に関する行政的な取組の集合体。

- ・震災からの復旧・復興及び災害に強い国土づくりのための総合的な事業・施策の更なる効果向上に資する技術的な取組
- ・公共事業の計画から実行、管理の各過程における効果及び効率の更なる向上、革新を図る技術的側面からの諸施策
- ・施設・機器類の設計・施工・製造・運用等に係る技術基準の整備と規制誘導措置の適用
- ・持続可能な社会を構築するため、エコロジー・環境負荷低減に資する技術的な取組
- ・産業競争力強化のための民間における技術研究開発の促進や国際標準整備への戦略的参画
- ・共通基盤となる地理空間情報・気象情報・海洋情報等の整備
- ・技術研究開発に係る諸施策
- ・高い有効性等、優れた技術の普及促進
- ・人材の育成や組織体制の整備
- ・技術政策に対する社会の信頼の確保

2. 考慮すべき諸情勢

- 東日本大震災等の災害から学ぶこと
 - ・災害に対する基本的な考え方として、完全防止から人命第一・被害最小化への転換
 - ・既往の設計値を越える外力に対する考え方、リスクの明確化
- 国土交通行政を巡る諸情勢
 - ・人口減少と少子・高齢化、経済・財政の低迷、国際的な競争の激化、地球温暖化等

3. 前計画の実績と課題

- 事業、施策と更なる連携の必要性
- 統合・融合による効果の最大化
- 技術研究開発特性に応じた支援

4. 今後の技術政策の基本方針

- 技術政策の方向性
- 今後の技術政策の基本方針

5. 技術に対する基本姿勢

【第2章】技術研究開発の技術の効果的・効率的な活用

2-1 技術研究開発の推進

1. 基本的な考え方

2. 重点的に取り組む技術研究開発

- 安全・安心の確保に向けた技術研究開発
 - ①地震・津波
 - ②風水害、雪害
 - ③維持管理・更新
 - ④交通・輸送システムの安全性・信頼性
- デフレ脱却と経済活性化に向けた技術研究開発
 - ①地球温暖化・エネルギー問題
 - ③自然環境、生活環境、水資源
 - ②新市場の開拓・国際競争力、国際プレゼンスの強化、地域活力
- 共通基盤となる技術研究開発
 - ①膨大な情報の有効活用
 - ②地理空間情報による情報活用
 - ③海洋フロンティア
 - ④公共調達を支える
 - ⑤既存施設を賢く使う

3. 技術研究開発の推進施策

- 技術政策における産学官の役割
- 産学による技術研究開発の促進・支援
- 技術基準の策定及び国際標準や国際標準の整備への取組
- 技術研究開発に係る評価

2-2 技術の効果的・効率的な活用

1. 基本的な考え方

2. 技術の効果的・効率的な活用の方策

- 新技術活用システムの再構築
- 技術基準の適用
- 他分野及び民間技術の活用
- 知の体系化(ナレッジマネジメント)の推進

2-3 重点プロジェクトの推進

1. 基本的な考え方

2. 関連要素の統合、融合、組合せによる効果向上を目指す7つの重点プロジェクト

- I. レジリエントな(災害に対して回復力のある)国土づくり
- II. 社会資本維持管理・更新
- III. 安全・安心かつ効率的な交通
- IV. ニューフロンティア・海洋
- V. グリーンイノベーション
- VI. 国土・地球観測基盤情報
- VII. 要素技術統合型・建設生産システム改善

3. 重点プロジェクトの実施方針

【第3章】国土交通分野における技術の国際展開

- 国土交通技術の国際社会へ展開貢献
- 国土交通行政の国際的なプレゼンスの向上への貢献
- 国際競争力の強化・産業の育成

【第4章】技術政策を支える人材の育成

- 技術政策を支える産学官の人材に求められる能力資質
- 国土交通省における人材の育成方策

【第5章】技術に対する社会の信頼の確保

- 災害、事故等に対する迅速且つ適確な対応
- 事業、施策に対する理解の向上と社会の信頼の確保
- 社会の期待に応える技術研究開発の推進
- 国民からの信頼を得るための実施上の留意点

【第6章】技術基本計画のフォローアップ

- 計画のフォローアップの考え方、実施方針